

三井不動産ビルマネジメント株式会社

# 新本社オフィス、第34回日経ニューオフィス賞「ニューオフィス推進賞」受賞



弊社の新本社(中央区日本橋室町)につきましては、下記のとおり、日本経済新聞社と一般社団法人ニューオフィス推進協会が主催する「第34回日経ニューオフィス賞」が発表され、「ニューオフィス推進賞」を受賞いたしました。受賞概要と弊社オフィスについてご紹介いたします。

記

## 1. 「日経ニューオフィス賞」について

## (1) 概要

「日経ニューオフィス賞」は「快適かつ機能的」なオフィスづくり普及・促進を目的とし、創意工夫をこらしたオフィスを年1回表彰するものです。今年度で第34回を迎え、応募総数152件の中から、以下の審査の観点で選出された16件が「ニューオフィス推進賞」を受賞しました。

(参考:一般社団法人ニューオフィス推進協会ホームページ http://nopa.or.jp/prize/)

#### 2. 新本社のオフィスについて

#### (1) コンセプト

弊社のブランドビジョン「ビジネスシーンの明日を変えていく」を体現するオフィスを目指し、以下の 4 点を重視して築 36 年のビルを改修し、オフィス空間の「経年優化」を目指して設計いたしました。

- ・付加価値業務の創造
- ・全ての基盤となるコミュニケーションの活性化
- ・自部門だけでなく、他拠点・他部門・他社との連携共創の場
- ・社員自身が自慢できるオフィス

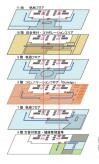
#### (2) 構築するうえでの工夫

## 《全社員で創り上げたオフィス》

各部門の占有エリアのレイアウトに関しては、そこで働く社員自らが有志のプロジェクトを立ち上げ、理想の働き方をデザインし、デザインから什器選定に至るまで携わっており、部門ごとの特色が随所に反映されています。また、本社で使用している椅子については、全社の総選挙で選定するなど、全社員で創り上げたオフィスとなっている点が特徴です。

## 《人的交流を促すミルフィーユ構造》

執務フロアと執務フロア(奇数階)の間に社内外のコラボレーションフロアを挿入(偶数階)することで上下階の 縦移動と交流の活性化を図っています。また8階を全社員のコミュニケーションフロアと位置づけ、Café やライ ブラリー、個人ロッカーを1フロアに集約することで偶発的なコミュニケーションの結節点としています。









## 3. 各スペースご紹介

(1) 10 階受付・エントランス・8 階コミュニケーションフロア







(2) 各執務エリア







## 4. オフィスツアーについて

弊社では、オフィスツアーを開催しております。ワークスタイル変革やオフィスレイアウトに関してお悩みの企業 様に当社オフィスをご案内しながらハード・ソフト両面での施策についてご案内いたします。

ご興味がある場合には以下お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

(新型コロナウイルス感染状況次第ではご案内が難しい場合もございますのでご了承ください。)

## 5. 本件に関するお問合せ

総務部総務グループ 03-6214-1400

以上